

今年のフェスティバルも大盛況！

はんの木だより

2016年12月
第64号
社会福祉法人美土里会
青森県上北郡七戸町寒水 70-17
電話 0176(62)2761

ゲストの黒石八郎さん・瀬川さとしさん
大いに会場を盛り上げる



(上)第二会場はデイ利用者中心に大盛況！
(中)第一会場は移動も困難なほど大混雑
(下)城北保育園園児による踊りは大盛り上がり



左から、黒石八郎さん、盛田薫総合施設長、瀬川さとしさん

十月二十三日、毎年恒例の美土里荘フェスティバルが開催されました。今年は屋内での混雑を避けるため、特養本館ホールを第一会場、南館ホールを第二会場としましたが、大勢の方にお越しいただき、どちらも満員御礼でした。美土里荘フェスティバルは、とにかくアトラクションが面白い！ゲスト司会者の瀬川さとしさんは、盛田薫総合施設長と同級生。トークの中にちよこちよこ折り込まれる昔ばなしが会場の笑いを誘います。そして城北こども園園児のかわいい踊りに涙腺が緩み、職員のアトラクションにある意味感動を覚え、そして最後の黒石八郎さんの歌と踊りとトークショーに皆で涙を流しながら大笑いしました。また、模擬店のメニューが豊富

で美味しい！と評判です。模擬店は外部の業者に委託しておりますが、どれを食べても美味しいです。また美土里荘では豚汁と甘酒を用意しますが、甘酒は無料サービスです。棒パン焼きはパン工房あぜりあ様より、パン生地を仕入れており、焼いてそのままでもおいしくいただけます。そして、恒例の大抽選会でわくわくドキドキ！一等・温泉旅行ペアチケットをはじめ、但馬牛ローストビーフなど景品が盛りだくさん。町内の新館米穀店様からお米を景品としていただき、いよいよ抽選会スタート！ため息や歓声が会場中に響く中、一等を手にしたのはなんと職員のご家族でした。今年も皆様のご協力のもと無事に終わることができました。ありがとうございました。また、来年も楽しい催し物をご用意しお待ちしております。



フェスティバル・笑顔の写真館

善意をありがとうございます

郵便局長会よりタオル寄贈

十一月三十日、青森県東部郵便局長会上北北部会様より、タオル五百本を寄贈して頂きました。当日は、七戸・天間林・榎林各郵便局長三名様が来荘。盛田薫総合施設長立ち合いのもと、ご利用者を代表して、特別養護老人ホーム美土里荘入所者の中野ミサ様に目録が手渡されました。中野様は驚いた様子でしたが「とてもありがたい」とニコニコ。盛田施設長も「大切に使用させていただきます」と感謝の気持ちを表しました。



職員コラム

事務長

さくた りゅうこ

作田 隆子

今回は美土里会の屋台骨、作田事務長をご紹介します！



平成五年、最初は栄養士として採用されました。いろいろな所から調理関係の情報を集めたり、料理本を開いてはより美味しいものを提供できるよう、昼夜考えていました。厨房にも入り、調理師さんたちとともに調理したり、また、メニューを考案したりもしていました。事務室で仕事をしていたので、段々と仕事も覚えるようになり、栄養士業務のほかにも、ケアマネや事務を兼務していました。平成二十三年に事務長になり、現在に至ります。

趣味は読書です。小説からマンガ本から：なんでも手あたり次第読み漁ると言えるほどの本好きで、お風呂に入りながらゆっくり本を読んで一日の疲れを癒やしています。

各事業所で敬老会開催

ご利用者の長寿を祝う

特別養護老人ホーム美土里荘



九月二十七日、敬老会を行いました。はじめに敬老の表彰を行い、卒寿・米寿・傘寿の方に表彰状と記念品の贈呈を行いました。お祝いの品を受け取られたご利用者の皆様は、厳かな雰囲気の中にも笑顔が見られました。表彰式の後は、会食、そして職員の方々の張ったパフォーマンス！ご利用者の方々も家族の方々も楽しんでおられ、終始笑顔が見られていました。豪華な食事と職員アトラクションにより、普段と違う表情や家族と楽しそうに会話するご利用者を見て、もつと長生きして、その笑顔を見せて頂きたいと改めて思いました。

ご利用者の皆様、ご長寿本当におめでとうございます！

グループホーム櫟

九月二十三日に敬老会が行われました。百五歳、九十歳(卒寿)の方々への表彰や、いつもお手伝い下さるご利用者の方々への感謝状の贈呈式がありました。その後会食となり、皆さん、色々な料理を少しずつ皿に取り分け、おいしそうに食べられています。中には「腹いっぱいだ」と、食が進まない方もいらっしゃいました。

余興の際、前方に出てきては楽しそうに踊り、また、しりとりゲームでは職員にヒントを貰い答える方や、自ら考えて答える方もいらっしゃいました。

共に楽しいひとときを過ごし、ご家族の方が帰られた後、「もう帰ったのか」と肩を落とし、寂しそうな表情をされる方も…。来年の敬老会も、皆さん元気で参加して頂けると嬉しいです。



デイサービスセンター梓



十一月六日、柏葉館で毎年恒例の演芸会を開催しました。今年はお利用者・職員・ボランティアの方々と併せて約百名と、大規模なものとなりました。

はじめに今年百歳・九十歳を迎えられた方四名に、敬老の表彰と記念品の贈呈が行われました。皆さん緊張した面持ちで所長から表彰状を受け取っていたのが印象的でした。百歳の方による記念のケーキカットを行い、皆さんからお祝いされて少し恥ずかしそうな様子でした。



その後は待望のご利用者・職員によるアトラクション！ご利用者によるスコップ三味線では大きな拍手が送られました。職員のアトラクションでは、マット運動や組み体操を行ったグループには歓声とともに拍手喝采。一方、所長が女装をして職員や高校生と共にダンスを踊った時には、大いに会場が盛り上がりました。その他にも職員やボランティアの踊り、ご利用者のカラオケなど次々と行われ、特にご利用者参加のご長寿早押しクイズでは珍回答が続出、会場中が笑いの渦に包まれました。

昼食は昨年度に続き、十和田富士屋ホテルの料理をテーブルバイキング形式で頂きました。特に鍋料理や大きな茶碗蒸しが好評で、皆さん「うめえ」と非常に喜ばれていました。

「来られて良かった、ハア死んでもいい」と涙ぐみながら喜ぶ方もいたほど大盛況だった演芸会。ぜひ長生きして頂き、来年も同じメンバーで楽しめれば良いと思います。

事業所通信

グループホーム櫟

九月五日、名川町のパノラマ果夢園に桃狩りに、九月二六日には南部町の中善農園にぶどう狩りに出掛けました。両日ともお天気に恵まれ道中の車窓からの景色も満喫できました。「おいしくて、なんぼでも食べられたよ」「白い方のおいしい限りです。」とおいしかった」と話して下さったご利用者の笑顔が印象的でした。昼食では、それぞれが好きなものを選んで食べることで、野菜嫌いのあの方も完食：嬉しい限りです。

これから冬を迎え、なかなか外出も難しくなってきましたが、ご利用者の笑顔のために職員一同、皆さんが楽しめる企画を催していきたいと思えます。



編集後記

第六十四号、いかがでしたか。初めての広報委員ということで、あまり役に立つこともできません。今年度の『はんの木だより』も残り一回を残すのみとなりました。早い：ですね。早いと言え、今年も早く、しかも、一気に寒くなりましたね。カメムシも大量発生していたので、今年は大雪かも…。皆様も風邪に気を付けてお過ごし下さい。(カメムシを「くせんこむし」というのは私の実家だけでしょうか(佳)